

1. 研究課題名

小児におけるB群連鎖球菌感染症ナショナルサーベイランス

2. 試料・情報

(1) 利用目的

本研究は、新生児・乳児における細菌感染症の原因の1つであるB群連鎖球菌（以下 GBS）の調査を行うことにより、今後の感染症治療法の検討や、将来的な GBS ワクチンの作成に寄与することを目的としています。

研究期間は承認日から 2027 年 3 月までです。

(2) 利用項目、提供方法

本研究は、承認日以前に、侵襲性 GBS 感染症に罹患された方の GBS が検出された残検体（血液や尿など）や診療記録を利用して行います。診療記録の場合：利用する情報は、検体採取日や患者様の生年月日、性別、検体の種類などで、利用を開始するのは、本研究が承認された日以降です。

本研究は多機関共同研究（研究代表者：菅井基行 所属：国立感染症研究所）であり、当センター（院長 中島淳）は国立感染症研究所（研究代表者：菅井基行）に、診療記録から得られた情報と残検体から得られた試料を提供します。その際、個人を識別できる情報は削除いたします。

ただし、当センターでは個人情報に十分な配慮をしたうえで、誰の情報や試料を提供したのか、後からでもわかるように管理をいたします。提供を開始するのは、本研究が承認された日以降です。

(3) 利用する者の範囲

日本赤十字社医療センター 新生児科 中尾 厚（研究責任者）

研究代表者：菅井基行（所属：国立感染症研究所 薬剤耐性研究センター長）および本共同研究に参加している、国内の医師

(4) 管理責任を有する者の名称

日本赤十字社医療センター

3. 参加を希望されない場合等

本研究への参加を希望されない場合や本研究参加についてのご相談がある場合は、以下へご連絡ください。本研究への参加を希望されない場合でも、不利益を被ることはありません。

4. 問い合わせ先

日本赤十字社医療センター

〒150-8935 東京都渋谷区広尾 4-1-22

TEL : 03-3400-1311 FAX : 03-3409-1604

担当 : 新生児科 中尾厚